

平成30年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

資料1

事業名	課題	目標	実施項目	3月末総括	年間スケジュール											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 児童館図書室での貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出状況が把握されていない。</li> <li>司書による定期的なメンテナンスが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長久手南児童館をモデル館とし、年間貸出数400冊(平成29年度約360冊)</li> </ul> <p>【第2次子ども読書活動推進計画 基本目標Ⅱ-2-(2)】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>団体貸出本の入替え、対象年齢別に本を棚に配置。</li> <li>図書室の貸出冊数を記録。</li> </ol>	<p>【成果】</p> <p>今年度、貸出冊数を記録する態勢を整えた結果、モデル館である南児童館の年間貸出冊数が、3月末で527冊に達し、目標値を上回ることができた。これは定期的に児童館図書室の書架メンテナンスを実施したことや、団体貸出本の入れ替えて図書室の本棚の魅力が保たれたことが、数値に反映したと言える。</p> <p>【検証】</p> <p>過去に団体貸出を実施している館については、予定どおり3館(南、下山、西)で図書の入替え(各200冊)を完了。新規の1館(青少年児童センター)への団体貸出も3月に200冊行った。上記以外の館も現地で書架メンテナンスを施したことから、児童館全6館で中央図書館からのサポート活動を遂行することができた。</p> <p>なお図書室利用状況の目安として、館外貸出数を全児童館で記録していく。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>今後とも全児童館との連携業務(選書・購入・現地入換)を継続するためには、他の館内業務との配分調整が必要。</p>	<p>南児 選書協議 南児団体貸出 下山児選書協議 団体貸出入替 西児童館での配架調整、団体貸出本(含協議)</p> <p>集計と検証(毎月) 上段:全数 下段:全数のうち中央図書館からの本</p> <p>青少年児童センター現地調査 青少年児童センターへ</p> <p>31冊(18冊) 53冊(23冊) 29冊(14冊) 30冊(23冊) 49冊(28冊) 41冊(20冊) 41冊(16冊) 54冊(20冊) 37冊(23冊) 52冊(27冊) 31冊(13冊) 38冊(16冊)</p>											
2 中高生向け特化棚づくり事業	<p>中高生向けの棚の利用冊数が少ない</p>	<p>中高生向けの棚の貸出冊数 年間6,200冊</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>新着図書リストを2ヶ月ごとに作成、掲示。</li> <li>図書館ホームページ内の該当ページを2ヶ月ごとに更新。</li> <li>中学校図書館での情報掲示。</li> <li>市内の2高校の図書館便りを2ヶ月に1度掲示更新</li> </ol>	<p>【成果】</p> <p>3月末時点では6,108冊で、年間目標値の99%に達している。</p> <p>【検証】</p> <p>毎週出版される新刊書の中から中高生に適した本を司書が選書し、中高生向け棚の蔵書構成を定期的に入れ替えた。また、上記の新着図書はリスト化をめざし、当初は2ヶ月ごとに、年度後半は毎月作成・掲示した。図書館ホームページ内の該当ページは、内容を整理して見やすくし、当初は2ヶ月ごとに、年度後半は毎月更新した。</p> <p>このほか市内の2高校と連携を始め、高校の図書館便りを2ヶ月に1度掲示更新した。特に、11月末から2月初頭に書けては新たに長久手高校図書委員が作成した本のPOPを展示するコラボ企画を実施したところ好評を博し、106冊の展示数に対する貸出数は385冊と約3.6倍に及んだ。またこの企画は新聞にも掲載された。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>現在配分できる中高生向け担当司書は一人であるため、担当者を増やし、図書知識の共有化と連携事業の継続化が必要。</p>	<p>中学生向き新着図書リストの作成、掲示</p> <p>図書館ホームページ内の該当ページを更新</p> <p>中学校図書館での情報掲示</p> <p>長久手高校とのコラボ企画(POP展)</p> <p>高校の図書館便りを掲示</p>											
3 不明化対策事業	<p>不明本が発生している</p>	<p>年間の不明本冊数減らす。(前年度209冊、目標150冊)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>不明化傾向分析に基づく本の配置換え。</li> <li>本にマーキング(館所蔵を表示)</li> <li>職員巡回による抑止力強化</li> <li>返却場所不明本の小型書架の増設(3台)</li> <li>防犯カメラ等の表示貼替え</li> </ol>	<p>【成果】</p> <p>目標値の基準は、毎年2月に行う蔵書点検の棚卸し結果である。今年度は175冊であり、目標値の150冊には達しなかったが、昨年の209冊に比すれば16%の減少である。</p> <p>【検証】</p> <p>今年度の対策として、職員のカウンターシフト交代時の閲覧室巡回、夏休み期間中にシルバー人材センター委託事業で館内の巡回、館内の貼紙表示替え等で抑止力を強化した。また、返却場所が分からなくなってしまう利用者が誤った場所に返却しないようにするために、新たに返却場所不明用の専用書架(ブックトラック)を3台設置し、誤返却による不明化を防止した。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>今後も引き続きアナログ的手法で視覚的に利用者へ訴えかける方法を続けていくが、激減化を果たすには盗難防止ゲートも含めたIC機器類の導入が焦点となる。</p>	<p>不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示)</p> <p>職員等による閲覧室巡回</p> <p>返却場所不明本用の小型書架の配置</p> <p>防犯カメラ等の表示貼替え</p> <p>黄ばみ等の点検、位置の変更など</p> <p>集計と検証(毎月)</p> <p>3冊 12冊 5冊 3冊 6冊 6冊 3冊 7冊 6冊 2冊 3冊 3冊</p> <p>4冊 1冊 2冊 2冊 5冊 2冊 2冊 2冊 4冊 1冊 1冊 2冊</p>											

平成30年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

資料1

事業名	課題	目標	実施項目	3月末総括	年間スケジュール																
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
4	延滞対策事業	延滞本が発生している	月次集計時点での延滞冊数を500冊以内とする。	<p>1.15日以上の延滞者に督促はがきを毎週郵送</p> <p>2.長期延滞者宛のはがきは色を変更</p> <p>3.延滞者への注意喚起カラーカードを作成し、窓口で渡す</p>	<p>【成果】 「月次集計時点での延滞冊数を500冊以内とする。」とした目標については、5月以降、毎月500冊を下回っている。前年比では43%減少。</p> <p>【検証】 ①H30年度から督促はがきの郵送サイクルを30日から15日に短縮し頻度を上げたこと、 ②30日以上延滞者へのはがきの色を黄色にして注意喚起性を高めたこと、 ③長期延滞者に定期的に返却・弁償要請の電話連絡を行ったこと等々が減少要因と考えられる。また、窓口カウンターで延滞が判明した際に利用者に渡す注意喚起カードを作り、カウンターに常備、使用したことも減少要因にあげられる。</p> <p>【今後の課題】 延滞者の傾向等の分析。</p>	<p>上段は前年値(対象日数30日以上)</p> <p>626冊 593 443 532 576 635 608 538 516 442 830 373</p> <p>668冊 482 388 256 298 266 309 224 203 232 267 263</p> <p>貸出冊数に対する延滞冊数の割合 1.7% 1.3 0.9 0.5 0.6 0.6 0.7 0.5 0.4 0.5 1.1 0.6</p> <p>延滞者への注意喚起カード手渡し</p>	<p>検証と改善(毎月→)</p>														
5	学校図書館の貸出事業	子どもが毎日通う学校の図書館で貸出を増やす必要がある	<p>年間貸出冊数 小学校151,000冊 (H29 147,601冊) 中学校8,900冊 (H29 7,096冊)</p> <p>【第2次子ども読書活動推進計画 基本目標 I-5-(3)】</p>	<p>学校連携司書による取り組み</p> <p>◎読書の楽しさ伝授 ・読み聞かせ ・ブックトーク</p> <p>◎興味や関心に応じた本の紹介 ・子どもの読書相談に応談</p>	<p>【成果】 3月末での貸出冊数は小学校147,202冊(目標値の97%)、中学校12,596冊(目標値達成)。</p> <p>【検証】 学校連携司書が、授業で「読み聞かせ」や「ブックトーク」の手法を用いて児童生徒に直接的に働きかけたり、読書相談に応じたりした。また、知見を生かした選書や書架づくりで学校図書館の魅力向上に取り組んだりした。</p> <p>【今後の課題】 読書に関心のない子どもへの働きかけ。</p> <p>【貸出冊数 参考値】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1学期</td> <td>2学期</td> <td>3学期</td> <td>年間累計</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>57,353冊</td> <td>57,750冊</td> <td>32,099冊</td> <td>147,202冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6,694冊</td> <td>3,909冊</td> <td>1,993冊</td> <td>12,596冊</td> </tr> </table>		1学期	2学期	3学期	年間累計	小学校	57,353冊	57,750冊	32,099冊	147,202冊	中学校	6,694冊	3,909冊	1,993冊	12,596冊	<p>学校での読み聞かせ・ブックトーク</p> <p>小5校 小全校 小全校 小4校 小4校 小全校 小3校 小全校 小全校 小全校 小全校 小5校</p> <p>中1校 中全校 中全校 中全校 中2校 中全校 中1校 中全校 中1校 中1校 中全校</p> <p>レファレンス相談</p> <p>5件 6件 12件 9件 35件 38件 23件 18件 26件 43件 8件</p> <p>子どもの読書相談に応談(常時)</p>
	1学期	2学期	3学期	年間累計																	
小学校	57,353冊	57,750冊	32,099冊	147,202冊																	
中学校	6,694冊	3,909冊	1,993冊	12,596冊																	

# 利用状況

(H30. 4. 1～H31. 3. 31)

## 【貸出基準】

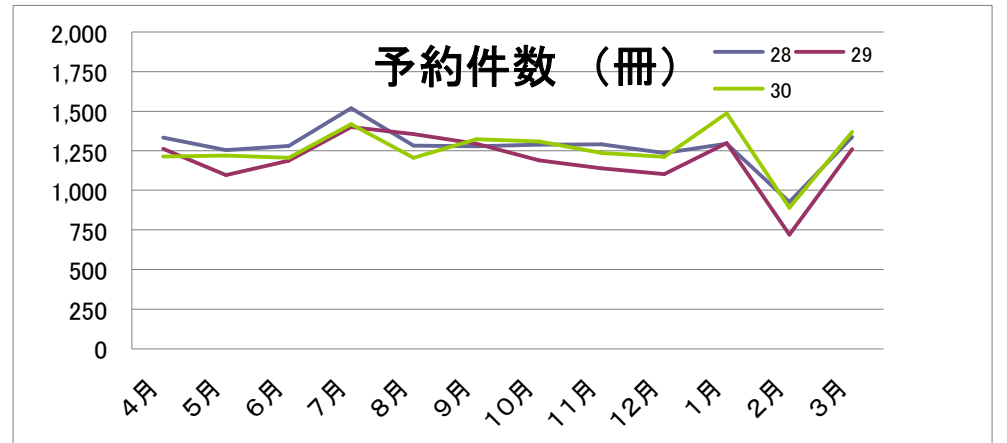
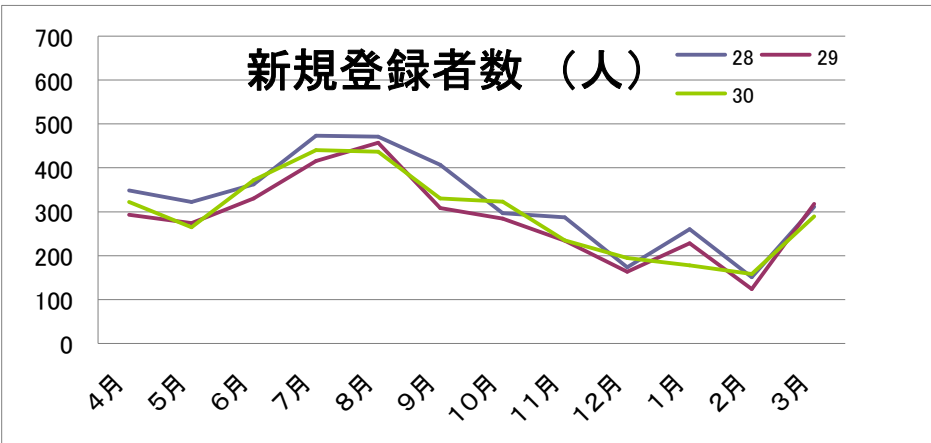
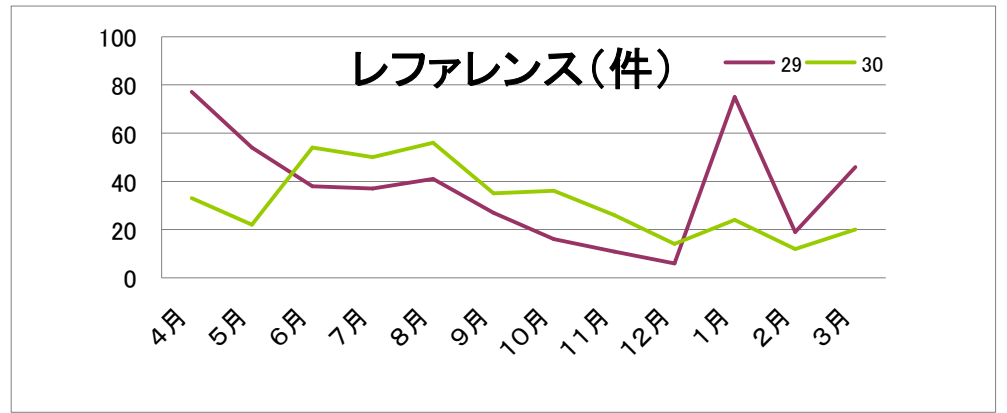
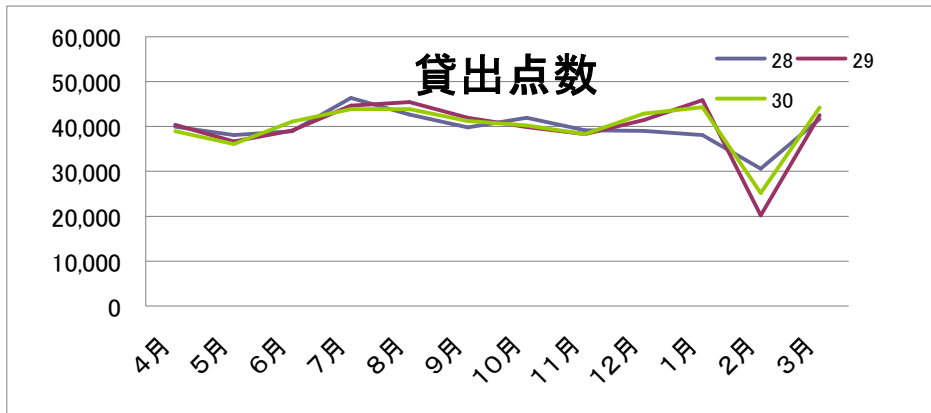
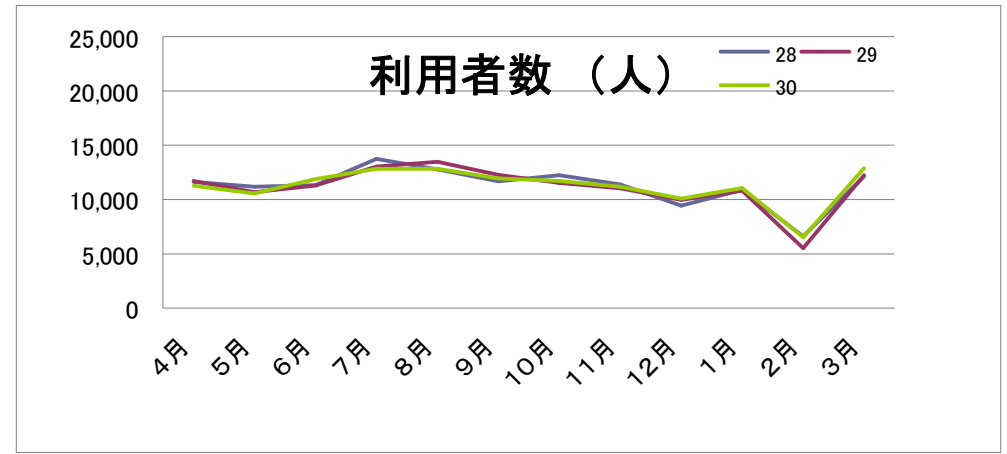
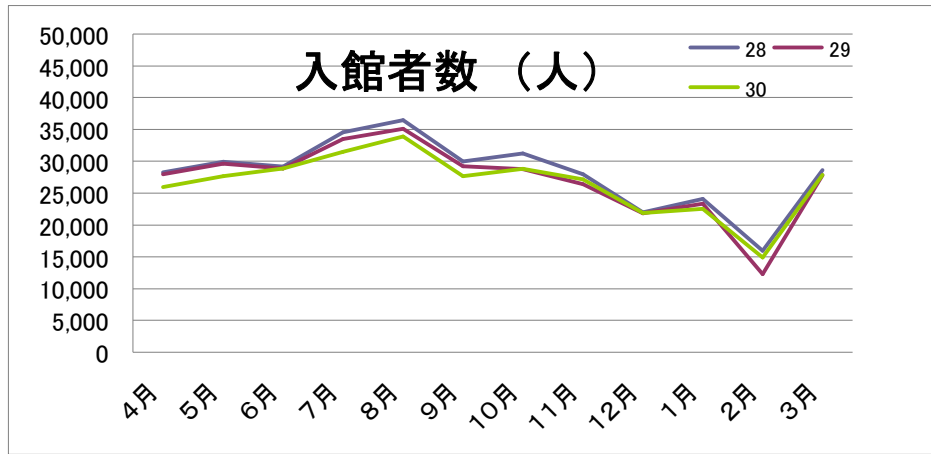
対象：市内在住、在学、在勤、在園者及び名古屋市名東区、名古屋市守山区、瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市在住者

点数：図書・雑誌・紙芝居 あわせて5点まで2週間 視聴覚資料2点まで1週間

## 【説明】

- ・入館者数は前年度比3%減。
- ・予約件数及び新規登録者数は前年度比3～5%増。
- ・貸出点数は横ばいであるが、視聴覚資料（20%減）と雑誌（4%減）の貸出点数が前年度比で減少した。

	H30年度													H29年度		増減率	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均	合計		一日平均
開館日数	25	25	25	25	26	25	25	25	22	22	13	27	285		283		
蔵書購入冊数	1,175	953	747	881	710	728	1,011	1,354	742	576	340	960	10,177		9,885		
入館者数	25,957	27,676	28,861	31,492	33,888	27,633	28,826	27,171	21,869	22,518	14,930	27,832	318,653	1,118	324,700	1,147	-3%
うち5時以降入館者	2,013	2,281	2,490	2,554	3,334	1,845	2,270	2,142	1,582	1,519	1,090	1,798	24,918	87	24,304	86	2%
貸出利用者数	11,270	10,573	11,885	12,842	12,841	11,966	11,737	11,179	10,079	11,079	6,514	12,874	134,839	473	133,589	472	0%
貸出点数	図書	36,346	33,549	38,163	41,026	41,119	38,492	37,607	40,121	41,434	23,602	41,431	448,561	1,574	443,091	1,566	1%
	視聴覚資料	555	554	639	665	671	569	546	580	499	311	584	6,705	24	8,275	29	-20%
	紙芝居	467	460	635	641	519	556	539	632	650	655	366	6,577	23	6,010	21	9%
	雑誌	1,584	1,481	1,588	1,528	1,534	1,585	1,550	1,431	1,529	1,670	890	18,074	63	18,782	66	-4%
	合計	38,952	36,044	41,025	43,860	43,843	41,202	40,242	38,314	42,832	44,258	25,169	44,176	479,917	1,684	476,158	1,683
新規登録者数	322	265	372	440	436	330	323	235	195	178	158	289	3,543	12	3,428	12	3%
予約件数(個人)	1,215	1,220	1,206	1,417	1,206	1,322	1,310	1,236	1,212	1,486	890	1,369	15,089	53	14,304	51	5%
A Vブース	123	93	137	206	324	184	184	78	68	69	41	116	1,623	6	1,689	6	-5%
A Vルーム	9	9	14	14	11	13	14	13	7	5	8	12	129		166		
ギャラリー	0	7	0	15	7	14	23	16	22	0	0	10	114		87		
レファレンス	33	22	54	50	56	35	36	26	14	24	12	20	382	1	447	2	
学習室(17時時点)	136	269	240	297	496	149	306	365	189	213	137	257	3,054		1,691		



## 令和元年度事業概要

### 1 図書館運営協議会

年 2 回の開催を予定

### 2 図書業務

#### (1) 収集、整理、保存、貸出

ア 図書資料等の収集、整理、保存、貸出

イ 地域資料の収集、整理、保存

ウ 逐次刊行物の収集、整理、保存、貸出

エ 視聴覚資料の収集、整理、保存、貸出

#### (2) 蔵書管理

ア 図書の選書、発注、受入

イ 蔵書データの整備

ウ 図書の整理及び補修

エ 除籍図書の選定

オ 寄贈図書の選定、受入

カ 除籍図書及び寄贈図書のリサイクル（リサイクル市での配布）

キ 未返却図書の督促（週 1 回等）

ク 蔵書点検（10月17日～31日予定）

ケ 不明図書の関連事務（配置換え、警告表示など）

コ コンピュータシステム更新（蔵書点検に併せて実施）

#### (3) 児童サービス（子ども読書活動推進計画関連）

(4) 中高生向けサービス（中高生向け特設棚、高校図書館との連携）

(5) 障がい者サービス（関連資料の収集、点訳図書作成ボランティアとの連携）

(6) レファレンスサービス（資料照会応談）

(7) リクエストサービス（所蔵外図書の取り寄せ、購入）

(8) 団体貸出（放課後子ども教室・保育園・幼稚園などへの貸出）

(9) 図書館間の相互貸借（東海北陸地方、国立国会図書館）

(10) 館内企画展示（自館企画、他課とのコラボレーション企画による特設コーナー）

### 3 資料収集予定

(1) 図 書 約 11,000 冊を収集予定

ア 中央図書館蔵書用

一般書	5,700 冊
児童書	3,300 冊
参考図書	200 冊
郷土資料	70 冊
紙芝居	40 組
中高生向図書	150 冊
計	9,460 冊

イ 学校連携及び児童館連携用

児童書	1,500 冊
-----	---------

(2) 視聴覚資料

D V D	30 点
C D	30 点
計	60 点

(3) 雑 誌 107 誌

※平成 25 年度から雑誌スポンサー制度を導入  
平成 31 年 4 月現在 11 事業者、19 誌

(4) 新 聞 12 紙

### 4 子ども読書活動推進計画

第 2 次長久手市子ども読書活動推進計画

(対象年度：平成 30 年度から令和 4 年度まで)

【主要な取組】

- (1) ブックスタート事業
- (2) 中央図書館の読書環境づくり
- (3) 児童館連携事業
- (4) 学校連携事業
- (5) 保育園・幼稚園の読書環境づくり

### 5 おはなし会等の行事

- |                         |        |
|-------------------------|--------|
| (1) おはなし会（図書ボランティア等による） | 年 70 回 |
| (2) 児童書企画イベント           | 年 1 回  |
| (3) 企画展示会（美術展）          | 年 2 回  |
| (4) 講座                  | 年 1 回  |

## 6 図書ボランティアとの協働

- (1) おはなし会での読み聞かせ
- (2) 図書資料の修理
- (3) 図書資料の返却、書架整理

## 7 見学・職場体験・実習生

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| (1) 小学生の図書館見学    | 各校年1回（3年生）     |
| (2) 夏休み図書館見学ツアー  | 図書館にて2回（小学生対象） |
| (3) 中学生の職場体験     | 各校年1回（2年生）     |
| (4) 大学生司書課程図書館実習 | 年1回            |
| (5) 教職員研修        | 不定期            |

## 8 広報

- (1) 利用案内、図書館カレンダー等の作成、配布
- (2) 新刊リストの発行
- (3) 小学生向け学年別推薦書リストの発行
- (4) 市及び図書館ホームページへの掲載
- (5) 市広報紙への掲載







子ども読書活動推進計画 平成30年度進捗状況・令和元年度目標値一覧

資料 5

達成度 目標達成…○ 未達成…×

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	平成30年度 目標値	実績(H31.3月末)	達成度	評価内容	令和元年度 目標値
1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進	1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1 乳幼児期からの読書活動の支援		乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートブック配付人数(年間)	424人	377人	×	目標値の89%の人数である。	400人
		2 家庭読書の支援	○	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。	年齢別ブックリスト作成	小学生向け作成	実施済	○	児童書架の専用コーナーで本を100冊設置し、低・中・高の3学年向き、3種類のブックリストを配布することができた。	幼児向け作成(2歳、3歳)
		3 地域の読書活動の支援		ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。	ボランティア団体への団体貸出(年間)	1,800冊	465冊	×	目標値1,800冊の内訳にボランティアでない団体も含まれ、実績はボランティアのみであるため、目標値を大きく下回っている。	470冊
	2 中央図書館(家庭・地域)における子どもの読書活動の推進	1 良質な図書の収集		専門的視点で司書が選定した良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	137,000冊	136,505冊	×	目標値には到達しなかったが、99.6%の実績であり、ほぼ達成した。	138,000冊
		2 声かけレファレンス	○	本をさがしている子ども(保護者含む)に司書から主体的に声をかけ、児童書のレファレンスサービスを強化します。	学校連携司書が中央図書館で実施するレファレンス件数(年間)	80件	83件	○	計画どおり遂行している。(104%)	155件
		3 中央図書館がより身近な存在となる事業の企画		子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。	テーマ展示回数(年間)	14回	14回	○	目標達成(100%)	15回
		4 図書ボランティアとの協働		読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、連携します。	ボランティア登録者数(年間)	84人	84人	○	目標達成(100%)	88人
		5 児童書の魅力を保護者へ伝えるための企画を実施		おはなし会の開催日数を増やし、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。	イベント等の実施回数(年間)	75回	71回	×	計画どおり遂行している。(95%)	75回
	3 児童館(地域)などにおける子どもの読書活動の推進	1 中央図書館からの図書貸出		中央図書館から児童館に団体貸出(児童館)をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。団体貸出未実施の長久手西児童館、長久手市青少年児童センターへの提供を開始します。	児童館への団体貸出(児童館)(全6館)	長久手西児童館のリニューアル、団体貸出開始	実施済	○	長久手西児童館着手～完了	青少年児童センター着手～完了 団体貸出の継続 各館1回
		2 ボランティアによる読み聞かせ	○	読み聞かせに適した絵本を提供し、ボランティアによる児童館での読み聞かせをする体制を整えます。	児童館での読み聞かせをした館(全6館)	ボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。	未実施	×	12月にボランティア交流会を開催し、ボランティアの意見を把握した。	ボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。
	4 保育園・幼稚園(地域)における子どもの読書活動の推進	1 保護者などに読書活動の大切さを周知	○	家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。	園児対象のブックリスト配置(全19園)	1園で各1冊 乳幼児向けリストを配布	実施	○	1月に配布済、0歳児に対しても配布した。	1園で各1冊 幼児向け(2歳、3歳)リストを配布
		2 読書と遊びを結びつけた取組	○	園での読み聞かせに、カルタなどのことば遊びの要素を入れた取り組みを充実させ、ふれ合いの中で楽しい体験ができるように支援します。また、中央図書館からの団体貸出によって、読み聞かせに適した絵本を増やします。	園職員へ選書のためのレファレンス実施(全19園)	2園	未実施	×	モデル園を1園設けることを決め、長湫東保育園に決定した。	2園
	5 学校における子どもの読書活動の推進	1 学校連携司書の派遣		中央図書館から小中学校へ学校連携司書を派遣し、司書教諭と協働して学校図書館を活性化させ、利用を促します。学校連携司書の「1校につき1人の配置」を目指します。	学校連携司書の配置人数	1人増員の予算要求事務	H31年度予算要求している。	○	増員なし(5人体制継続)	1人増員の予算要求事務
		2 学校連携司書による調べ学習の補助		学校連携司書が教職員と連携し、調べ学習のための本を中央図書館の蔵書から選定し提供することで、子どもの学習と教職員の授業を支援します。	年間の調べ学習用等の貸出冊数(小学校)	2,800冊	1,611冊	×	目標値の58%の冊数である。学校からの依頼が少なかったこと、必要な本が学校間のやりとりで対応できたことが背景として考えられる。	2,800冊
					年間の調べ学習用等の貸出冊数(中学校)	160冊	140冊	×	目標の88%の冊数である。	160冊
		3 学校連携司書による読書案内		学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで、読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介します。さらに、学校のボランティアと協力し、朝読書や読み聞かせを実施し、学校図書館の貸出冊数の増加を図ります。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	151,000冊	147,202冊	×	計画どおり遂行している。(97%)	151,000冊
					年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)	8,900冊	12,596冊	○	目標達成(142%)	9,000冊
		4 学校連携司書による企画展示		学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	1校あたりの年間のテーマ展示回数(小学校)	小学校5回	18回	○	目標達成(360%)	小学校6回
				1校あたりの年間のテーマ展示回数(中学校)	中学校1回	7回	○	目標達成(700%)	中学校3回	

基本目標1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進の達成割合 H31.3月末現在 ○:目標達成・・・10個(53%) ×:未達成・・・9個(47%)

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	平成30年度 目標値	実績(H31.3月末)	達成度	評価内容	令和元年度 目標値	
2 子どもの読書環境の整備・充実(本の見やすさ、対象別に強化)	1 中央図書館のサービスの充実	1 子どもの発達段階に応じた読書環境づくり		対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気の間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。	中央図書館の児童書コーナーの点検・調整(年間)	2回	6回	○	目標達成 (300%)	4回	
		2 中高生向けの図書の充実、読書環境づくり		中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した書棚をつくります。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	6,200冊	6,108冊	×	目標値には到達しなかったが、99%の実績であり、ほぼ達成した。	6,400冊	
		3 ホームページを通じた情報発信	○	ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。	年齢別の推薦本紹介ページの開設	小学生向け作成		着手(12月)	×	小学生向けの推薦本図書100冊の準備に着手した。	小学生向けの完成と、幼児向け作成(2歳、3歳)
		4 障がいのある子どもへのサービス	○	点字絵本やさわる絵本などを収集し、障がいを持つ子どもや保護者へ提供します。	障がい児向け図書の提供	10冊		64冊	○	点字絵本36冊、さわる絵本20冊、LLブック8冊を提供した。	70冊
		5 中央図書館からやや離れた地区に住む子どもたちへの読書環境づくり		中央図書館からやや離れた地区に住む子どもの読書環境を向上させるために、団体貸出の拠点数を増やします。	中央図書館から団体貸出する拠点の数	13箇所		14箇所	○	計画どおり遂行している。(108%)	15箇所
	2 児童館の読書環境の整備・充実	1 児童館利用者への本の紹介	○	児童館に来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。	年齢別ブックリストの配置	小学生向け作成		済	○	目標達成	幼児向け作成(2歳、3歳)
		2 児童館図書室の環境整備		児童館図書室の本の配置やレイアウトの調整、新規に購入する本や除籍本の選定に中央図書館が協力をします。また、司書が選定した本を中央図書館から団体貸出(児童館)をすることで、図書室の魅力を高めます。	本の配置などの点検・調整(年間)	各館と調整		全6館で実施済	○	目標達成	継続
	3 保育園・幼稚園の読書環境の整備・充実	1 園内の図書コーナーの整備	○	園の図書コーナーを充実するため、年齢に応じたおすすめ本のブックリストの提供や読み聞かせに適した絵本や地域の民話などを中央図書館から紹介します。司書が図書コーナーづくりや絵本の選定に関するアドバイスをすることで、園の職員を支援します。	選書の意見交換と支援の年間実施園数(全7園)	1園		モデル園(1園)	○	長秋東保育園をモデル園として決定	2園
		2 団体貸出登録		中央図書館の団体貸出カードを発行し、全ての園で活用するように周知し団体貸出を促します。	市内全ての園の団体登録数(全19園)	10園		10園	○	目標達成 (100%)	12園
	4 学校図書館と中央図書館の連携体制の強化・充実	1 学校図書館の環境整備		学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定に中央図書館が協力し、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりを支援、アドバイスします。	学校図書館へ週4回訪問する学校数(小学校6校) 学校図書館へ週4回訪問する学校数(中学校3校)	1人増員の予算要求事務		H31年度予算要求している。	○	増員なし(小学校4校、中学校0校)	1人増員の予算要求事務
		2 中央図書館資料の学校への提供		中央図書館から学級文庫用として団体貸出(学校)をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。	団体貸出(学校)の冊数(年間)	11,400冊		7,390冊	×	目標値の64%の冊数である。	7,430冊
		3 学校連携司書による中央図書館の行事企画		学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトークなどのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。	中央図書館でのイベント参加者数(年間)	140人		176人	○	目標達成 (126%)	145人
		4 学校図書館と中央図書館の情報共有	○	学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けにおすすめする本をホームページで紹介し、学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。	学校連携司書が薦める本をホームページで紹介する冊数(年間)	4冊		4冊	○	目標達成 (100%)	8冊

基本目標2 子どもの読書環境の整備・充実(本の見やすさ、対象別に強化)の達成割合 H31.3月末現在 ○:目標達成・・・10個(77%) ×:未達成・・・3個(23%)

基本目標		重点施策	取組	新規取組	内容	指標	平成30年度 目標値	実績(H31.3月末)	達成度	評価内容	令和元年度 目標値
3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める)	1	普及活動の充実	1 読書手帳の普及		読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	170枚	200枚	○	目標達成(118%)	200枚
						読書手帳の完了スタンプ数(年間)	50個	171個	○	目標達成(342%)	173個
			2 「子ども読書の日」などの普及		「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、参加者増加を目指します。	「子ども読書の日」いちにちおはなし会参加者数(年間)	140人	247人	○	目標達成(176%)	155人
			3 保護者への周知	○	中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。	中央図書館のホームページで各施設で行われている読書活動を紹介	5件	2件	×	1 長久手高校POP展(対象:高校生) ⇒中央図書館HP「中高生向けページ」掲載 2 文化の家コラボテーマ展示 テーマ:キッズシネマ/対象:小学生 ⇒中央図書館及び文化の家HPでリンク掲載	5件
	4 各施設で読み聞かせイベントなどの実施		中央図書館内外での読み聞かせイベントなどを通し、読書の大切さを広めるよう広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	3,900人	2,495人	×	目標値の64%であるため、周知方法、開催方法などを含め今後の課題としたい。	3,900人		
	2	各種情報の収集・提供	1 図書情報などの収集・提供	○	子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。	閲覧室等へ随時、子ども読書に関わる情報を掲示する件数(年間)	1件	1件	○	ブックスタート会報誌の情報を児童閲覧室内掲示板で掲示	2件
	3	優れた取組の紹介	1 図書ボランティアなどの活動を紹介	○	図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティアの活動状況を掲載	1種	着手	×	全ボランティア団体へ活動状況の原稿を依頼中。	1種
<p>基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める。)の達成割合 H31.3月末現在 ○:目標達成・・・4個(57%) ×:未達成・・・3個(43%)</p> <p>平成30年度子ども読書活動推進計画 達成度合計 ○:目標達成・・・24個(62%) ×:未達成・・・15個(38%)</p>											

## 第4章 読書の好きな子どもが増えるための施策

基本目標Ⅰ：家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進

### 1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進

#### (1) 乳幼児期からの読書活動の支援

乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
ブックスタートパック配付人数 (年間)	386人	500人

#### (2) 家庭読書の支援

家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
年齢別ブックリスト作成	1種類	5種類

#### (3) 地域の読書活動の支援

ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
ボランティア団体への団体貸出 (年間)	<del>1,729冊</del> 435冊	<del>2,000冊</del> 520冊

### 2 中央図書館における子どもの読書活動の推進

#### (1) 良質な図書の収集

## (2) 中央図書館資料の学校への提供

中央図書館から学級文庫用として団体貸出（学校）をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
団体貸出(学校)の冊数	<del>10,741冊</del> 6,900冊	<del>12,000冊</del> 7,450冊

## (3) 学校連携司書による中央図書館の行事企画

学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトークなどのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
中央図書館でのイベント参加者数 (年間)	144人	160人

## (4) 学校図書館と中央図書館の情報共有

学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けでおすすめする本をホームページで紹介します。学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
学校連携司書が薦める本をホームページで紹介する冊数（年間）	0冊	20冊

## 視聴覚資料の個人貸出期間の変更

### ■概要

視聴覚資料の個人貸出について、貸出期間を次のとおり変更します。

- (1) 変更前 1週間貸出（貸出日及び返却日を含めて8日以内）
  - (2) 変更後 2週間貸出（貸出日及び返却日を含めて15日以内）
- ※貸出点数は変更しません（1人につき2点まで）。

### ■理由

視聴覚資料は所蔵点数が少ないため、より多くの利用者に貸出ができるよう、平成4年の開館以来、貸出期間は1週間としてきましたが、近年、動画配信サービス等のインターネットでの個人視聴の環境が充実してきたという背景があり、開館当初と比べると貸出点数は減少しています。また、利用者からも貸出期間を延長してほしいという要望があります。

そこで、視聴覚資料の貸出期間を、本・雑誌・紙芝居と同じく2週間にすることで、利用者サービスの向上を図るものです。

### ■変更時期

令和元年11月以降から（図書館コンピュータシステム更新以降）

### ■手続き（規則の一部改正）

定例教育委員会へ上程、承認後、「長久手市中央図書館の管理及び運営に関する規則」の第7条第6項に規定されている個人の貸出期間のうち、視聴覚資料の期間を改正します。

長久手市中央図書館の管理及び運営に関する規則（平成4年教育委員会規則第3号）新旧対照表

改正後	改正前
<p>(個人貸出し)</p> <p>第7条 1～5 (略)</p> <p>6 個人の貸出期間は、_____貸出日及び返却日を含めて15日以内_____とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、これを延長又は短縮することができる。</p> <p>7 (略)</p>	<p>(個人貸出し)</p> <p>第7条 1～5 (略)</p> <p>6 個人の貸出期間は、<u>図書及び紙芝居の場合は貸出日及び返却日を含めて15日以内とし、視聴覚資料の場合は貸出日及び返却日を含めて8日以内</u>とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、これを延長又は短縮することができる。</p> <p>7 (略)</p>